

# 東大阪市における下請企業動向調査結果概要について

(東大阪商工会議所)

【期 間】2023年1月10日～2月13日

【対 象】本所会員のうち製造業で従業員4人以上の企業1,647社

【回収数】有効回答290社(回収率17.6%)

※有効回答は部分的に下請関係にある企業を含む

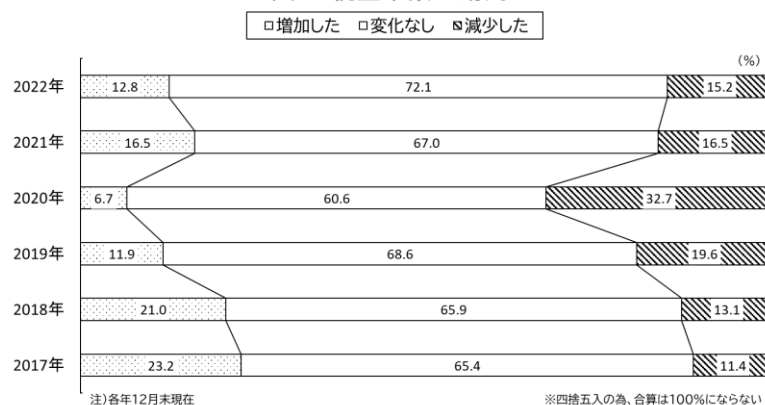
※四捨五入の為、合算は100%にならない

## 1. 取引と受注状況

### (1) 親企業数の動向 (図1)

1年前と比較した2022年12月末の親企業数は、「増加した」と回答した企業の割合が12.8%で、前年(16.5%)を3.7ポイント(以下Pと略す)下回った。また、「減少した」と回答した企業の割合は15.2%(前年16.5%)で前年を1.3P下回った。時系列の推移をみると、親企業数が増加したと回答した割合は、コロナ禍の影響で2020年には1割を下回ったが、社会経済活動が徐々に再開され、2021年には増加に転じた。2022年は再度減少したものの、コロナウイルス感染拡大前である2019年を若干上回っている。

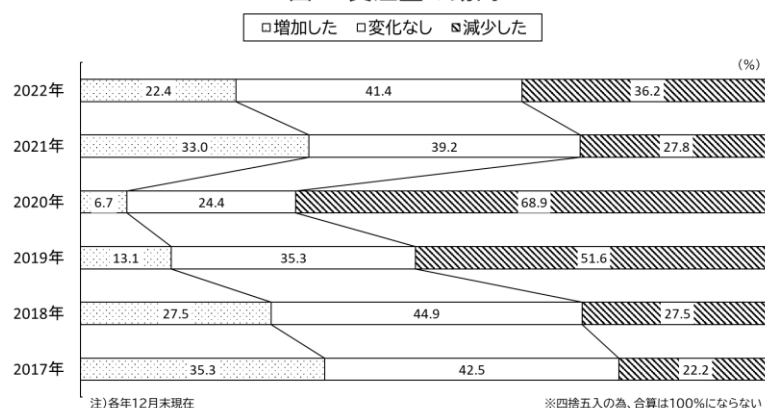
図1 親企業数の動向



### (2) 受注量の動向 (図2)

1年前と比較した2022年12月末の受注量は「増加した」と回答した企業の割合が22.4%(前年33.0%)、これに対して「減少した」と回答した企業の割合が36.2%(同27.8%)となった。尚、受注量が増加したと回答した割合を時系列にみると、2021年はコロナ禍の反動で大きな伸びを見せたが、2022年は減少に転じた。

図2 受注量の動向



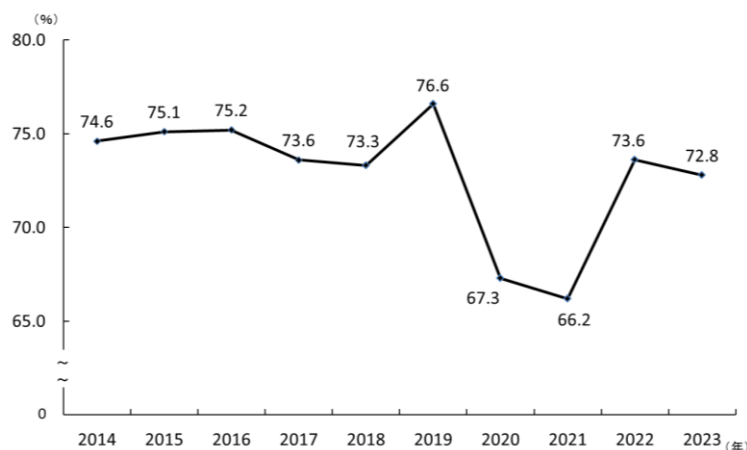
### (3) 下請額の割合

全生産額に占める下請額の平均割合は74.4%で前年(74.9%)より0.5P下降した。また、生産額のすべてが下請とする企業の割合は全体の47.6%と前年(44.0%)を3.6P上回った。また、全生産額の「80%以上100%未満」が下請とする企業の割合は16.2%(前年20.1%)である事から、全生産額の80%以上を下請生産している企業が6割を超えている。一方、全生産額の「20%未満」が下請とする企業の割合は、10.3%と前年(8.7%)を1.6P上回っている。

### (4) 継続的受注の割合 (図3)

継続的にある下請受注の平均割合は72.8%と前年(73.6%)から0.8P下降している。生産の全て(100%)が継続的な下請受注と回答した企業の割合は33.4%みられ、前年(33.7%)を0.3P下回っている。

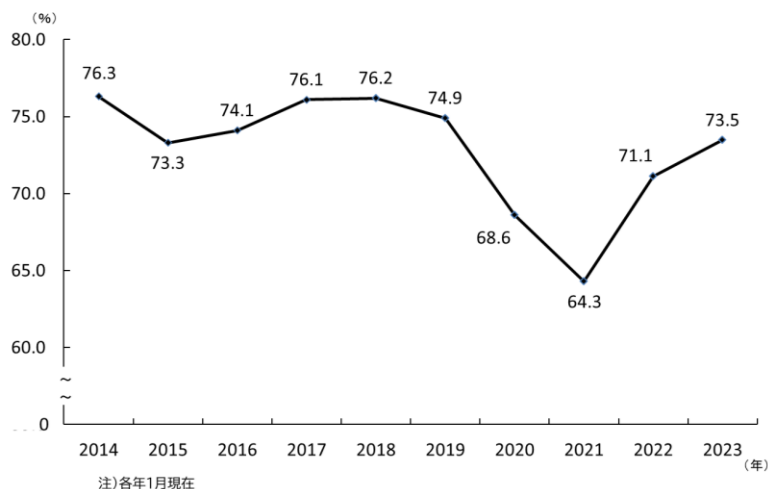
図3 継続的受注割合の推移



## 2. 設備機械の稼働率 (図4)

2023年1月の設備機械の平均稼働率は73.5%(前年71.1%)で、前年を2.4P上回っており、昨年に引き続き7割を上回った。

図4 設備機械の稼働率の推移

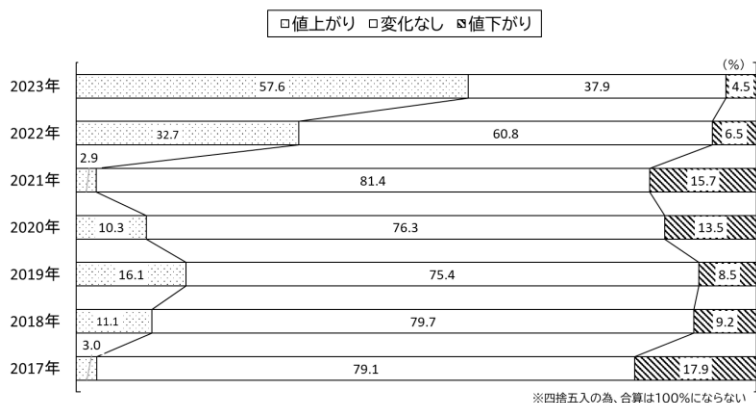


## 3. 受注単価と採算状況

### (1) 受注単価 (図5)

1年前と比較した受注単価をみると、「値上がり」と回答した企業の割合は57.6%で前年(32.7%)を24.9P上回り、2022年以降2年連続大幅な伸びを見せている。一方、「値下がり」と回答した企業の割合は4.5%で前年(6.5%)を2.0P下回っている。尚、「変化なし」と回答した企業の割合は、37.9%で前年(60.8%)を22.9P下回っている。

図5 受注単価の推移



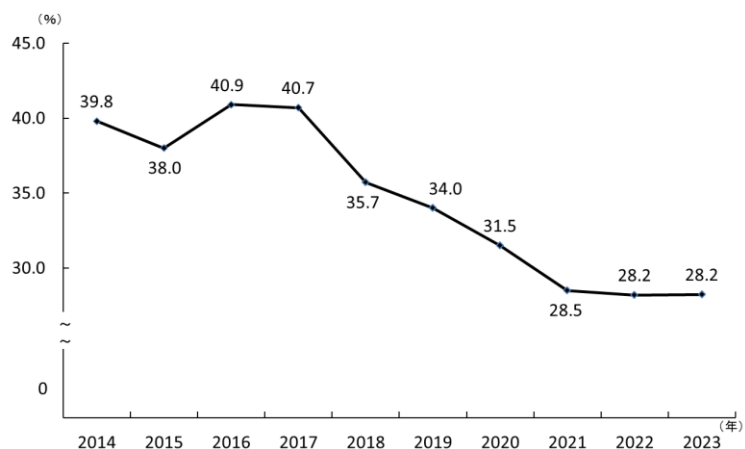
### (2) 製品単位当たりの採算状況

1年前と比較した製品単位当たりの採算状況をみると、「好転した」と回答した企業の割合は13.4%と前年(9.4%)を4.0P上回った。一方、「悪化した」と回答した割合は39.7%で前年(43.4%)を3.7P下回っている。また、「変化なし」と回答した企業の割合は46.9%で前年(47.2%)を0.3P下回っている。

### (3) 採算割れ製品の有無 (2023年1月現在)

2023年1月現在、採算割れ製品が「ある」と回答した企業の割合は52.8%と前年(48.1%)を4.7P上回った。

図6 手形での受取割合の推移



## 4. 代金の受取状況

### (1) 手形での受取割合 (図6)

代金の回収について、手形での平均受取割合は28.2%と前年(28.2%)から横ばいである。

### (2) 受取手形の平均サイト

受取手形の平均サイト(期間)をみると105.6日(前年107.5日)と1.9P下回っている。また各企業の最長サイトの中で最も長いのは180日となっている。

## 5. 親企業からの不当な取引の要請

親企業より不当な取引要請があったと回答した21社のうち、「無理のある価格設定」が16件で最も多く、回答者の8割近くを占めた。